



悪い



良い

東邦大学 科学技術社会論Ⅰ（第9回）授業中レポート

(1) 氏名

(2) 学籍番号

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1										
2										
3										
4										
5										
6										
7										

(3) 現行の日本の民法では、親子関係はどのように決められるか。説明せよ。

まず分娩の事実をもって母子関係が決められて、
妻が婚姻中に懐胎した子は夫の子と推定されて父子関係が決まる。

(4) 法と科学はどういうところでタッグが組めて、どういうところではタッグが組みにくいのか。自由に記せ。

裁判も科学も「真実を見つける」という目的を共有している点でタッグが
組みやすいが、裁判では「真実を見つける」という目的よりも上位に
「紛争を調停する」という目的があり、この目的が前面に出てくるとタッグが
組みにくくなる。

(5) 将来あなたが科学研究従事者になったとして、あなたのような裁判で専門家証人に呼ばれると思うか？ そこでどのような証言が求められると想像されるか？ 自由に記せ。



悪い



良い

(6) 日本で初めて裁判でDNA鑑定が証拠採用されたのは何年のことか？

1985年 = 3

(7) 専門技術的裁量とは何か？

高度に専門的な内容については裁判では扱わず、専門家の助言にもとづいてなされる行政判断を優先するという考え方。

(8) 実体的判断代置方式とはどのようなものか？

専門技術的裁量を認めず、専門的な内容についても裁判で審査したあし、結果が行政判断よりもとくちと異なる場合、司法判断を優先するという考え方。

(9) 将来、裁判官はいま以上に科学的素養を必要とされるようになると思うか。その理由とともに答えよ。

(10) 共同事実確認とはどのようなプロセスか、答えよ。

関係者間で、科学的情報について吟味し、お互いに納得できる点、納得できない点などについてとりまとめるプロセス。

(11) 共生（co-production）とはどのような考え方が、答えよ。

科学技術と社会とが互いに影響を与えあうたから新しい状況をつくり出しているという考え方。

(12) 今日の講義で分からなかったこと、もっと知りたかったことについて、自由に回答せよ。